

はじめに

「幸せ」続く 川西町の実現へ

わたしたちのまち、川西町はコンパクトな町域ながら、農村田園環境、区画の整った住宅街、工業団地が整理され、「住む」にも「働く」にもバランスの取れた町です。また、奈良盆地のほぼ中央に位置していることから、県内どこへでもアクセスできることや主要道路と鉄道によって大阪、京都、名古屋ともつながっていることから、今後も人が集まり活動する舞台としてポテンシャルが高い町だと考えております。一方で、東京への一極集中や少子高齢化による人口減少、地方創生による自治体間競争など、本町への逆風も吹いている状況にあります。

そんな中、今後も持続して地域を維持し、住む人、働く人、関わる全ての人のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に幸せな状態）が実現できるよう、中期のビジョンとして「川西町第3次総合計画後期基本計画」、そうした人が増えてさらに川西町の活力が増すよう「第2期まち・ひと・しごと総合戦略」を策定しました。

計画を策定するにあたって、よりよい未来が実現するよう「人・企業が集まるまちづくりの推進」「子育て・教育の支援強化」「シニアの生活支援強化」「行財政改革の推進」を施策の4つの柱として設定しています。あわせて、実現したいビジョンが一致するSDGs（持続可能な開発目標）の視点も導入しました。

今後本計画をもとに、住民の皆さまが地域の中で安心とワクワクを感じ、住むことに誇りを感じてもらえるようなまちづくりを進めていきますので、一層のご理解とご協力をお願いします。

最後に、本計画の策定にあたりご審議いただきました委員の皆さまをはじめ、アンケートやパブリックコメントなどで協力をいただきました住民の皆さまに心からの感謝を申し上げます。



まちづくりの4つの柱

- 「人・企業が集まるまちづくりの推進」
- 「子育て・教育の支援強化」
- 「シニアの生活支援強化」
- 「行財政改革の推進」

令和5年（2023年）3月

川西町長 小澤 晃 広

目次

第1章 総合計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨	2
2. 計画の役割	3
3. 計画の構成と期間	4
4. 計画の推進	5
5. SDGsの設定	6

第2章 後期基本計画

分野Ⅰ 暮らしと福祉に関すること

1. 健康・医療	12
2. 高齢者福祉	14
3. 子育て支援	16
4. 障害者福祉	18
5. 社会保障	20
6. 地域福祉活動	22
7. 男女共同参画	24

分野Ⅱ 教育と文化に関すること

1. 人権教育・人権啓発	28
2. 学校教育	30
3. 青少年教育	32
4. 生涯学習	34
5. スポーツ	36
6. 文化・芸術	38
7. 歴史	40

分野Ⅲ 生活環境に関すること

1. 住環境	44
2. ごみ・リサイクル	46
3. 防犯・交通安全	48
4. 防災	50
5. 地域コミュニティ・住民協働	52

分野Ⅳ 都市基盤に関すること

1. 道路	56
2. 上下水道	58
3. 公共交通	60
4. 駅周辺整備	62

分野Ⅴ 地域産業・地域経済に関すること

1. 農業	66
2. 商工業	68
3. 企業誘致	70
4. 雇用・労働	72
5. 観光	74

分野Ⅵ 行財政運営に関すること

1. 広域連携・広域行政	78
2. 広報・広聴	80
3. 行政経営・財政運営	82

分野Ⅶ 土地利用に関すること

土地利用の基本方針	85
土地利用構想図	88
1. 土地利用	90

第3章 まち・ひと・しごと総合戦略

プロジェクトⅠ 人・企業が集まるまちづくりの推進

- 1. 商工業を活性化する 97
- 2. 地域への新しい人の流れをつくる 99

プロジェクトⅡ 子育て・教育の支援強化

- 1. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 104

プロジェクトⅢ シニアの生活支援強化

- 1. 健康長寿と生涯活躍を実現する 108
- 2. 安心して安全な暮らしを持続可能なものとする 110

プロジェクトⅣ 行財政改革の推進

- 1. 多様な主体と連携した地域運営をおこなう 113
- 2. 持続可能でクリエイティブな行政経営 114

付録 参考資料 117